

# 15 News Letter Last

巻頭言  
改訂版 動物行動図説 出版記念  
オンラインイベント  
開催報告  
参加報告  
2025年度大会について  
会員・会計管理用の新システム  
編集後記～最終号～

2025. May

動物の行動と管理学会

2025. May

動物の行動と管理学会

## 巻頭言 会長挨拶

青山 真人（宇都宮大学）



「元」会長の青山です。2021年度から、4年間、会長を務めさせて頂きました。本学会は、2019年に日本家畜管理学会と応用動物行動学会が統合して生まれた学会です。設立して間もない学会でもありながら、前の二つの学会の歴史を背負う伝統ある学会です。我々と動物とのかかわりについて、昔から伝えられたあり方、今後求められる新しいあり方について、正しい方向を示す任を負う学会です。そのような学会の二代目会長となることに当初は不安もありました。しかも、お引き受けした当時は新型コロナウイルスが猛威をふるっていた時期でもありました。振り返ってみて、はたして私でよかったのかどうか分かりませんが、私にとっては楽しい4年間でした。オンラインでの研究発表会は、遠隔地でも比較的気軽に参加できるというメリットがあり、よい経験になりました（やはり対面の方がずっといいですが…。何より、懇親会が開催できる！）。改訂版動物行動図説の編纂など、通常ではない会長としての役目もありましたが、各種役員の方々や、会員の皆様のご尽力のおかげで、楽しい会長時代を過ごさせて頂きました。

本学会のニュースレターは今回が最後と伺っております。ニュースレターは元々、2002年に設立された応用動物行動学会の情報交換の場として始まりました。本学会の会誌「Animal Behaviour and Management」は、日本家畜管理学会と応用動物行動学会の合同会誌でしたが、応用動物行動学会員には、年4回発行される会誌の第1号のみが配布され（研究発表会の講演要旨が載っているため）、第2～4号は配布されなかった（そのぶん、日本家畜管理学会よりも年会費が安かった）ため、会誌に代わる情報交換の場として始められたと記憶しています。ニュースレターが始まってまもなく、私は「シンポジウム担当幹事」（大会担当とは別に、シンポジウム担当があった）を務めておりました。シンポジウムの報告をニュースレターに載せるのもシンポジウム担当幹事の役目でした。このとき、学生の参加者としての視点のシンポジウム報告もあり、私が指導している学生だけでは足りず、当時麻布大学の学生だった加瀬ひろさんなど、他大学の学生に報告をお願いすることも多く、次世代の会員と接する機会を得て、良い経験でありました。ニュースレターがなくなることは寂しい思いもありますが、学会が統合されたことや、情報交換のツールが増えたこと等考えると、必然であるのかも知れません。萩原先生、最後の担当、ありがとうございました。

今は様々なことが変化しつつある時期と感じます。そのことに関連があるのかどうかは分かりませんが、本学会で扱うことはこれまではなく広がりと感じます。改訂版の動物行動図説では、実験動物の行動が紹介され、また、研究発表会では、特に展示動物においてこれまでにない動物種の研究が発表されています。また、形態学など、行動とは一見かけ離れた手法を用いた発表もみられるようになりました。動物の行動を適切に理解するためには、行動だけを観るのではなく、動物の様々な性質を把握していることが重要と考えています。本学会は、より総合的に動物の行動を理解し、より適切な管理の方法を提案できる方向へ向かっていると感じています。新会長は、帝京科学大学の加隈 良枝 先生になります。日本家畜管理学会時代から考えても、初の女性会長であり、また、私の記憶が正しければ、産業動物が専門ではない初の会長でもあったかと思います。新たな時代を迎える会長として相応しいと感じています。新たな牽引役を、会員のみなさんで支えて行きましょう。



# 改訂版 動物行動図説 出版記念 オンラインイベント 「動物の行動って面白い！」開催報告

小倉 匡俊（北里大学獣医学部）



当学会が編集を担当した「改訂版 動物行動図説—産業動物・伴侶動物・展示動物・実験動物—」の出版を記念して、2025年3月10日と18日の2日間にわたってオンラインイベント「動物の行動って面白い！」を開催しました。両日あわせて15名の著者が、それぞれの担当した動物について行動の面白さや記録の難しさなどについて、豊富な映像や写真を交えつつお話ししました。ライブ配信ではそれぞれの日程で100名以上の方にご視聴いただき、アーカイブもこのニュースレターの発行時点で2000回ほど再生されています。本書をお持ちではない方、学会に入会されていない方も含め、とても多くの方にご参加いただきました。ご視聴いただいた皆さま、ご講演いただいた先生方、本当にありがとうございました！

アーカイブは以下のURLからご視聴いただけます。

- ① <https://www.youtube.com/watch?v=QlnMNkvCNoM>
- ② <https://www.youtube.com/watch?v=QLem7wqcn08>

## 参加報告

石徹白 ほのか（埼玉県こども動物自然公園）

3月10日、18日に開催された本イベントはYouTubeを利用したオンライン開催ということで、イベントの趣旨通り動物に関わる方もそうでない方も様々な方が気軽に参加しやすいイベントになったことかと思います。図説内ではそれぞれの動物の行動について豊富な写真とともに解説されていましたが、イベントではオンラインだからこその動画や音声を用いた、さらに楽しめる内容となっていました。その行動を観察した時の様子などの話もあり、写真と文字だけでは分かりにくかった部分の解像度が高まったように思います。また、著者の先生方のこれまでの研究や図説に載せていなかった貴重な話など、それぞれの動物に対する興味や行動に対する探究心等、動物の行動ってこんなに面白いんだよ！という熱い思いが画面越しからも伝わり、現地に行かずともこんなにたくさんの先生方の話をこのボリュームで家から、外出先からリアルタイムで一度に味わえるのか。と、現代の便利さを改めて実感しました。



今回のイベントを通し、動物に従事する者として動物をよく観察し些細なことにも目を向け、日々疑問や興味を持ち向き合っていきたいと改めて実感しました。次の改訂では自身も著者の一人として伝える側になれるように、日々邁進したいと思います。

## 参加報告

徳永 有輝（東海大学大学院生物科学研究科）



この度、3月10日にYouTube Liveで開催されました『改訂版 動物行動学図説』出版記念オンラインイベント「動物の行動って面白い!」に参加しましたので、報告いたします。

イベントでは、はじめに産業動物・伴侶動物・展示動物の行動が概説され、その後の質疑応答では登壇者間および視聴者との間で活発な議論が展開されました。伴侶動物や展示動物に関する知見は、産業動物を対象とした研究に取り組んでいる私にとって普段あまり触れることのない領域であり、新鮮味がありました。特に、登壇された先生方の研究内容から動物への深い理解と愛情が伝わり、より広い視野で動物の行動を捉えることが重要だと感じました。また、動物の行動を理解することの難しさや、その欲求を満たすための管理や環境を構築することの難しさについても改めて実感しました。今回のイベントを通して、動物の行動についてこれまでとは異なる視点から考えるきっかけを得ることができました。今後もさまざまな動物の行動に目を向けながら、その魅力や奥深さを楽しみつつ学び続けていきたいと思っています。

## 動物の行動と管理学会2025年度大会について

田辺 智樹（大会担当・北海道立総合研究機構酪農試験場）

事前に日程をお知らせしておりました2025年度大会について、下記の通り参加・発表申込みを開始いたします。

### 【大会日程】

2025年9月16日（火）～18日（木）

9/16（火）夏の学校

9/17（水）学術大会（優秀発表）、役員会、懇親会

9/18（木）学術大会（一般口頭、ポスター）、総会、優秀発表表彰

※9/16は11:00開始予定

※9/17,18は、10:00開始、17:00終了予定（演題数によって変更あり）

### 【開催場所】

OUGA（アウガ）5階 青森市男女共同参画プラザ カダール（学術大会）

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7

交通アクセス：青森駅より徒歩5分

（<https://www.auga.aomori.jp/access>）

口頭発表：AV多機能ホール

ポスター発表会場：研修室



○弘前市弥生いこいの広場、青森県観光物産館アスパム（夏の学校）

〒036-1343 青森県弘前市大字百沢字東岩木山2480-1（弥生いこいの広場）

〒030-1343 青森県青森市安方1丁目1-40（アスパム）（仮）

## 【開催方法】

対面開催のみ

## 【申込みフォーム】

<https://forms.gle/QwKTcAiPtPy3aAez7>

学会参加(発表なしも含む)へのWeb申し込みを開始していますので、奮って御参加下さい。

学会参加のみの場合も事前申し込みが必要となりますのでご注意ください。

申し込み後、申し込み内容の自動返信がありますので、Google formからのメールが受け取れる設定にしておいて頂くようお願い致します。

自動返信がない場合は、担当者(田辺)まで御連絡下さい。なお、上限に達した企画については、その時点で申し込みを締め切りますので、御了承下さい。

※懇親会: 日時は9月17日(水)18:00開始予定

場所は青森市内(青森駅周辺を予定)

詳細については後日連絡いたします。

## 【その他】

・会員の皆様におかれましては、2025年度の会費の納入をお願いいたします。

・非会員の方は、入会手続きをお願いいたします(<https://isabm.org/admission/>)。

※参加・発表申込みと同時進行で構いません

・大会参加申し込み期間は5/21(水)～8/31(日)となっております。

・発表発表申込み〆切は6/18(水)、要旨の提出〆切は7/2(水)です。

※宿泊場所の確保が困難になることが予想されますので、参加をご検討されている方はお早めに宿泊場所を確保をお願いいたします。

不明点等ございましたら、大会理事(田辺)までお問い合わせください。

それでは、たくさんの方の参加申し込みをお待ちしております。

なお、2026年度大会は、2026年3月(長野県)に開催を予定しております。

詳細は決まり次第お知らせいたします(2025年11月頃予定)。

---

## 会員・会計管理用の新システム

二宮 茂 (会計担当・岐阜大学)

戸澤 あきつ (会計担当・日本獣医生命科学大学)

これまでも何度かアナウンスしました、会員・会計管理用の新システム、ようやく、運用開始できる運びとなりました。

学会は会員の皆様からの会費によって運営されております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 編集後記～最終号～

この15号をもって最終号となりました動物の行動と管理学会のニュースレター。編集後記ではニュースレター発刊に携わった広報委員の方々にコメントをいただきました。

### 林 英明 (酪農学園大学)

2021年3月までニュースレター担当しておりました酪農大の林です。関わらせていただきありがとうございました。最近では学会の大会にはあまり参加できていませんが、今年は参加してみなさたと色々と情報交換できたと考えています。



### 伊藤 秀一 (東海大学)



この「動物の行動と管理学会」ニュースレターは、もともと「応用動物行動学会」のニュースレターを引き継ぐ形で発行がスタートしました。応用動物行動学会の記念すべきニュースレター第1号は2003年5月に発行され、当時の会長であった佐藤衆介先生による「ニュースレター発刊に思う」で幕を開けています。第24号(2011年4月)までは、紙媒体あるいはPDF形式で配布されていたと思います。編集担当については、第1号から第3号までを内田先生、第4号から第11号までを河合先生、第12号から第23号までを小針先生、そして第24号から第54号までは深澤先生が務められ、その後、現在の萩原さんに引き継がれました。特に第1号から第24号までは、非常に個性豊かな先生方の写真(内容自体はいたって真面目です)が掲載されており、写真だけを見ると「どんな組織の、何のニュースレターなのか?」と判断しにくい紙面になっています。私自身は、2011年5月から2019年1月までの期間(第24号から第54号まで)、ニュースレターの編集(深澤先生が集めた記事をHP掲載用に体裁を整える作業)とHPへのアップロードを担当していました。当時は今のようなクラウド型のシステムではなく、専用のHP作成アプリを使って自分のPCでページを構成し、FTPアプリで毎回アップロードするという、いわば手作業での運用でした。ニュースレターも、同じアプリで作成していたと記憶しています。便利な世の中になりました……。この期間は、東日本大震災に始まり、2016年には私の所属する大学が熊本地震に見舞われました(奇しくもこの原稿を書いている今日は、あの地震からちょうど9年の節目、4月16日です)。この先は、どうか穏やかな日々が続くことを願うばかりです。

### 萩原 慎太郎 (福山市立動物園)



林先生から引き継ぎ、ニュースレター担当になってから発刊時期が不定期になってしまい、すいませんでした。また本来なら2025年3月末に発刊しなければいけない最終号をここまで先延ばしにしてしまいました。廃刊は広報理事の先生方とも話し合い決定しました。最終号の編集を迎え、伊藤先生のコメントを拝読しながら、「偉大なる先生方の歴史や想いがあるニュースレターを私が終わらせてしまう」責任から……。ただただ編集遅れてすいませんでした。今後、広報理事の先生方がニュースレターが担っていた役割を新たな方法で形にしてくださることと思います。これまで、携わっていただきました方々、誠に誠にありがとうございました。